認知症があってもなくても楽しめる
アートのセカイ

CHIYODA アートプログラム展

―認知症とともによりよく生きる―

2026 10.14(水)-20(火)

明治大学中央図書館ギャラリー

開場時間=10:00-16:00（最終日14時まで）入館料=無料

千代田区／九段坂病院／東京都健康長寿医療センター研究所

協力：明治大学図書館

認知症とともによりよく生きる

CHIYODA アートプログラム展

「前より自由に描けるようになってきたわ」

「好きに描いてもらっていいんですよって、間違ってもいいんだよって」

“CHIYODA アートプログラム”では、そっと素材に触れた手から、
思いが立ち上がる瞬間があります

作品を前にした時、心の奥からこぼれる言葉があるかもしれません。

ここに並ぶ作品は、認知症の人や特別な技術を持つ人だけが創作したものではありません。

小さなころから絵が苦手だと思い込んできた人、記憶が揺らぐ日々を過ごす人、寂しさを抱えてきた人、そして介護する家族の作品です。どんな人の思いも、色となり質感となり、境目なく“まじりあい”ながら、その人だけのオリジナルな世界を形づくっています。

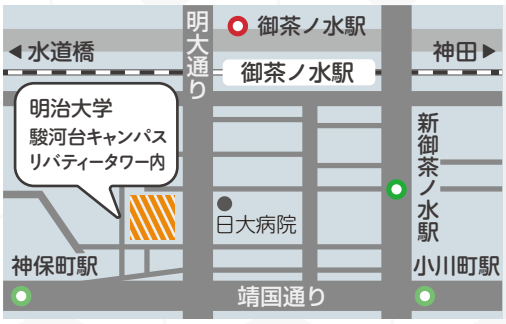
アートに触れるなかでは、認知症があるかないかも、年齢も、肩書きも、すべてが静かにほどけていきます。ただ「表現したい」という思いだけが残り、その思いが、あなたと誰かをそっとつないでいきます。

本展示では、そんな“まじりあい”から生まれる喜びを作品とともにお届けします。

臨床美術とは?

臨床美術は1996年、彫刻家・金子健二らが開発したアートプログラムです。年齢や立場、障がいの有無などにかかわらず、子どもから大人まで楽しんでいただけます。

完成を目的とせず、五感で感じながらつくる過程を大切にしています。感じたままに思いを巡らせた表現はそれぞれ異なるため、作品は比べることができません。臨床美術は、一人ひとりが自分らしく表現できる豊かな世界です。



会場：明治大学中央図書館ギャラリー

〒101-8301　東京都千代田区神田駿河台1-1

- **御茶ノ水駅**（JR中央線・総武線）　下車徒歩約3分
- **御茶ノ水駅**（東京メトロ丸ノ内線）　下車徒歩約3分
- **新御茶ノ水駅**（東京メトロ千代田線）　下車徒歩約5分
- **神保町駅**（都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線）下車徒歩約5分

千代田アートプログラムの様子がこちらからご覧いただけます

本展示会は、千代田区・九段坂病院・東京都健康長寿医療センター研究所が共同で実施した「認知症とともによりよく生きるためのプログラム」三者共同研究・開発事業の参加者が制作した作品を、明治大学図書館の協力のもと展示いたします。

お問い合わせ先：千代田区保健福祉部在宅支援課
地域包括ケア推進係　**電話**：03-6265-6485（直通）